

教育研究データ

1. 氏名	小田 典子		
2. 生年月	1958年12月		
3. 取得学位	医学博士		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2022年 4月	<p>①病理病態学Ⅰ・Ⅱでは、重要疾患の病理学的事項（疾病の成り立ち）に続けて臨床的事項（症状・診断・治療等）を説明する。そのために、病理学各論と臨床栄養学（病態編）を関連づけた独自のレジュメ、自主学修プリントを作成して配布もしくはデータ配信している。また単元ごとのミニテストを実施し、重要項目の把握、学修習慣の確立に役立てている。</p> <p>②医学の中でも認知度の低い病理学の講義開始時には、日本病理学会 HP 中の一般向けの動画やマンガを紹介し、病理診断について理解を深められるようにしている。また、疾患による臓器や組織の病理学的変化の画像をパワーポイントで提示し、特に重要な疾患については、同学会 HP 中のコア画像を閲覧させて解説を加えている。</p>	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2019年 5月	2018年度の病態栄養生理学が学生による授業評価における高評価授業として選出され、授業公開を行った。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
①臨床栄養学 疾病編[第3版] 嶋津孝・下田妙子編 17.2 クリティカルケア(p.269-273)	共著	2014年	化学同人
②合格ラインに到達する管理栄養士 国家試験対策 管理栄養士国家試験研究会編 第2章人体の構造と機能及び疾病の 成り立ち（5～8）(p.70～88)	共著	2013年	化学同人

(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
①Cytophotometric analysis on nuclear DNA contents of human scirrhous gastric carcinoma	共著	1989 年	Pathology Research and Practice 184, 390-401
②DNA ploidy pattern and amplification of <i>ERBB</i> and <i>ERBB2</i> genes in human gastric carcinomas	共著	1990 年	Virchows Archiv B [Cell Pathology] 58, 273-277
③ Ossifying fibromyxoid tumor of soft parts: A case report	共著	1993 年	Jpn J. Clin. Oncol. 23, 64-68
④渡航前予防接種 254 例の解析 —海外渡航感染症対策の検討—	共著	2015 年	『広島医学』68(1), 10-16
⑤海外から帰国し, 感染症の疑いのある受診者の現状と問題点	共著	2018 年	『広島医学』70(2), 82-86
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
① Advance vaccination planning and travel assessment — Online traveler history is a better workflow for travel clinics in Japan	2017 年 11 月		グローバルヘルス合同大会 2017 (第 21 回日本渡航医学会学術集会)
②渡航者希望のワクチンは医師の助言でどのように変化したか?	2019 年 7 月		第 23 回日本渡航医学会学術集会
(4) 所属学会			
①日本病理学会			
②日本癌学会			
③日本病態栄養学会			
④日本渡航医学会			
⑤日本抗加齢医学会			